

# 平成25年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	大宮消防出張所耐震改修		
予 算 額	6,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	庶務課(212-6635)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>  「京都市建築物耐震改修促進計画」では平成24年度から平成27年度までの4年  間を「耐震化重点期間」と位置付けており、現時点で耐震性能が不足していることが  明らかになっている市有建築物については平成27年度末までに計画的に耐震改修を  進め、耐震化率90%の達成を目標としている。  大宮消防出張所は建築から38年が経過しており、老朽化が著しく耐震性能が不足  しているため、耐震改修を実施する。</p> <p>《施設概要》  場 所：上京区大宮通今出川上る観世町  建 築 年 月 日：昭和50年3月31日  建 築 構 造：鉄骨造2階建て 延べ204㎡</p> <p><b>[事業概要]</b>  年次計画  平成25年度 実施設計  平成26年度 耐震改修</p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

# 平成25年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	花背消防吏員駐在所耐震改修		
予 算 額	3,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	庶務課(212-6635)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>  「京都市建築物耐震改修促進計画」では平成24年度から平成27年度までの4年  間を「耐震化重点期間」と位置付けており、現時点で耐震性能が不足していることが  明らかになっている市有建築物については平成27年度末までに計画的に耐震改修を  進め、耐震化率90%の達成を目標としている。  花背消防吏員駐在所は建築から33年が経過しており、老朽化が著しく耐震性能が  不足しているため、耐震改修を実施する。</p> <p>《施設概要》  場 所：左京区花脊八桝町  建築年月日：昭和54年1月26日  建築構造：鉄骨造2階建て 延べ167㎡</p> <p><b>[事業概要]</b>  年次計画  平成25年度 実施設計  平成26年度 耐震改修</p>			
<p><b>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</b></p>			

# 平成25年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	京北消防ヘリポート(仮称)の整備		
予 算 額	44,000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	庶務課(212-6635)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>          京北地域においては、高度な医療を受ける救命救急センターなどの三次医療機関が付近にないことから、高度な医療措置を早期に受ける必要のある傷病者については、市街地の三次医療機関に搬送する必要がある。</p> <p><b>[事業概要]</b>          現在、京北地域では常時着陸可能な離着陸場が確保できていない現状であり、京北地域の救急救命体制の更なる向上、とりわけ、京北病院との連携強化を図る目的から、夜間にも離発着が可能な離着陸場を整備する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 総事業費 50百万円 ※京都市過疎地域自立促進計画事業</li> <li>2 整備計画              平成24年度 実施設計, 測量調査等              平成25年度 離着陸場, 夜間照明設備等整備</li> <li>3 整備場所 京北塩田町</li> </ol>			
<p><b>[参 考 (他都市の状況・事業効果など) ]</b>          消防ヘリコプターが24時間離発着可能な離着陸場を整備することで、救急搬送に要する時間を短縮することができる。</p>			

# 平成25年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	防災センターリニューアル整備		
予 算 額	100,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	庶務課(212-6635)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>                  東日本大震災の発生を受け、発災後の身の安全の確保から避難所への移動までの一連の防災行動の流れを更に啓発する必要がある。                  また、平成23年に発生した台風12号及び近年多発しているゲリラ豪雨などから、水災害についても市民の防災意識が高まっているため、いざというときの行動を改めて市民に啓発する必要があるが、現在の京都市市民防災センターでは水災害の体験施設を保有していないため、水災害に関する体験学習が十分に実施できていない状況である。</p> <p><b>[事業概要]</b>                  平成7年度に開設した京都市市民防災センターの体験施設について、経年の利用により老朽化が著しいことから、更新整備に合わせ、大規模災害時の防災行動、シナリオ型体験コーナーの整備に加え、新たに水災害の啓発も兼ねた施設としてリニューアルし、体験学習を通じた市民に対する防災意識の更なる普及啓発を図る。</p>			
<p><b>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</b></p>			

# 平成25年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	事業所帰宅困難者対策の推進		
予 算 額	5,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	庶務課(212-6635)		
<p><b>〔事業実施に至る経過・背景など〕</b>            大規模災害時には、道路や鉄道等の被害により、通勤・通学先から自宅への帰宅が困難となる帰宅困難者が37万人にも上ることが想定されている。            これらの帰宅困難者対策に対する事業所が取り組む指針を策定するため、一斉帰宅の抑制・分散化、安全な一時滞留場所の確保、非常用物品の備蓄などについて検討する必要がある。</p> <p><b>〔事業概要〕</b>            「事業所対策協議会」を設置するとともに、「ホテル等の宿泊施設」「百貨店等の大型集客施設」「工場等施設」「大学等学校施設」の部会において課題を検討し、それぞれの業態ごとに指針を策定する。指針策定後は、京都市地域防災計画に反映させ、一定規模以上の事業所に周知する。</p>			
<p><b>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</b>            その他の協議会            「ターミナル対策（京都駅周辺）協議会」都市計画局担当            「観光地対策協議会」行財政局・産業観光局担当</p>			

# 平成25年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	119番通報等における多言語通訳体制の確保		
予 算 額	2,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	庶務課(212-6635)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>          本市を訪れる観光客や留学生などの外国人は年々増加の傾向にある。それに伴い、京都市内に滞在する外国語を主言語とする方からの119番通報や災害現場等での外国語での対応の必要性が高まっている。</p> <p><b>[事業概要]</b>          外国語での119番通報や災害現場等の対応を円滑にするため、電話同時通訳サービスを用いた24時間365日対応可能な通訳体制を確保する。          ≪対応言語≫          英語、中国語、韓国語などの複数言語を予定</p>			
<p><b>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</b>          正確な情報収集が可能となることにより、災害現場等における活動が円滑化する。</p>			

## 平成25年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

<b>事務事業名</b>	消防団100人委員会U-35(仮称)の創設		
<b>予 算 額</b>	1,000千円	<b>新規・継続の別</b>	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	局配分枠
<b>担 当 課</b>	庶務課(212-6635)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b>                  本市の消防団員の平均年齢は全国平均と比べ高く、大規模災害時等に現場活動の中心となる若手団員の不足が課題となっている。</p> <p><b>[事業概要]</b>                  概ね35歳以下の若手団員による委員会を設置し、消防団や消防分団の枠を超えて今後の消防団の方向性や具体的な取組方策について議論することで、更なる消防団の活性化を図る(年3回程度開催予定)。</p>			
<b>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</b>			